

## <ちょこっとコラム③>

(祭色 その①)

### 「緑」

礼拝では、教会の暦（期節）に基づいて、祭壇や、聖職のストールなど祭服に使われる布の色が変わります。祭色と呼ばれ、白、緑、紫、赤の4色があり、それぞれが意味をもって教会の期節を視覚的に示す働きをしています。今、用いられている緑は、基本的に「顕現後第一主日・主イエス洗礼の日」の翌日から「大斎始日」の前日までの顕現節と、「聖霊降臨日」の翌日から降臨節が始まるまでの長い期節に用いられます。

緑は、草木の色、自然の色であり、神の恵みと成長、希望を表します。